



相次ぐ事故・事象！増収・合理化・お客さま無視の JR 東日本 新規事業に腐心するだけでは安全はつくり出せない！

山之内秀一郎氏が遺した言葉は今の JR 東日本に向けられている！

- ・第一に重要なのはなんと言っても安全に対する、明確な経営理念とその実践にある。私は「安全を神棚にあげるな」と言っている。「安全は企業にとって大切である」というメッセージだけで安全を神格化し、現実には増収、合理化、新規事業にしか関心を持っていない経営者をあまりにも多く見てきたからである。現場の社員は経営者の本心と行動を实によく見ている。安全を大切にする企業風土とは、何よりも経営者の安全に対する本当の理念と実践によってつくられるのである。
- ・安全のための投資は即効性が見えにくい。したがってどうしても、経営管理部門、財務部門を説得するのが難しかった。「安全のためにはお前たちが現場をちゃんと管理すればいいのだ。それをせずに、こんなに経営が苦しいのにそんな金は出せない」と言われることが多かった。
- ・私は教育訓練、きちんとした現場管理が大変重要なことであり、すべての基本だと考えているし、きちんとした企業風土と現場の秩序はそれによってつくられるとも信じている。しかし、精神論だけで安全が守れるかというそうはいかない。現場の第一線の人たちは 365 日、毎日のように「安全第一」と言われている。そこへまた「安全を大切に、規律を持って」と言って本当に心に響くのだろうか。
- ・日常的に起きる小さな事故の中から、大事故の予兆を捉えて防いでいかなければならない。
これが安全対策の基本なのである。

山之内秀一郎著「なぜ起こる鉄道事故」まえがきより。
山之内氏は JR 東日本副社長・会長、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 理事長、JR 東日本顧問を歴任。2008 年 8 月没。

私たちは職場からどのように安全をつくり出すのか考えよう！